

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

当組合は、「一人ひとりの思いをカタチに。」をキャッチコピーとして、農・ひと・自然を大切に、豊かな暮らしの実現と地域社会の発展に貢献することを理念として掲げており、金融事業については、農業と地域社会に根差した地域金融機関としてサービスを提供しております。また、共済事業についても、「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供を通じて、お客さまの豊かな生活づくりに努めております。

当組合では、この理念のもと「お客さま本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、お客さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組方針を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通KPI」）も同時に公表いたします。

岩手中央農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最良・最適な商品、サービスの提供

(1) 信用の事業活動 【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末: ±0)	8 (前年度末: +2)
株式型	4 (前年度末: ±0)	6 (前年度末: ±0)
REIT型	2 (前年度末: ±0)	3 (前年度末: ±0)
バランス型	10 (前年度末: ±0)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

I .取組状況

2 お客様本位の提案と情報提供① 【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客様に安定的な運用成果をご享受いただくために、お客様の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案しております。
- なお、現在「毎月分配型ファンド」を選択されているお客様はいらっしゃいません。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



I. 取組状況

2 組合員利用者本位の提案と情報提供② 【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、資産運用ガイダンス、JAバンクセレクトファンドマップ等を活用するうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

資産運用
ガイダンス

安心でゆとりある将来のために、JAバンクはお客さまと一緒に資産形成・資産運用を考えます。ぜひ、ご相談ください。

目次

- P1 私たちのお金をとらしく環境
- P3 資産形成や資産運用の必要性
- P5 お金の色分け
- P6 リスク・リターンの関係
- P7 資産分散
- P8 長期投資
- P9 時間分散
- P10 積立投資と一括投資
- P11 エントリー分散投資
- P12 おトクな税制優遇
- P13 投資信託とは

ブルくん
ベアちゃん

JAバンク

2024年1月

JAバンクセレクトファンドマップ

リスク・リターン 小 ← → 大

安定型 中間型(安定~中間) 中間型(中間~積極) 積極型

バランス
債券
株式
REIT

左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!

ブルくん
ベアちゃん

「投資信託説明書(交付書目録)」のご請求、お申し込みは

コア・サテライト戦略について

保有する資産を「コア(中核)資産」と「サテライト(衛星)資産」に分けて運用する方法

JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で長期投資に適した投資信託を厳選しました。

主な選定基準等

- 1 長期投資 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性 資産形成には、適度な分配金を出す投資信託ではないこと
- 5 運用体制 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって、最善の提案を目指し、投資信託を厳選しているんだね!

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

- 当組合では、金融商品について内容や重要情報をわかりやすくご提供することを目的とした「重要情報シート」を活用してご説明しております。
またお客さまへの商品提供や共済仕組みのご提案にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」を定めております。管理方針に基づき、利益相反担当部署と連携を取りながら、適切な管理に努めております。

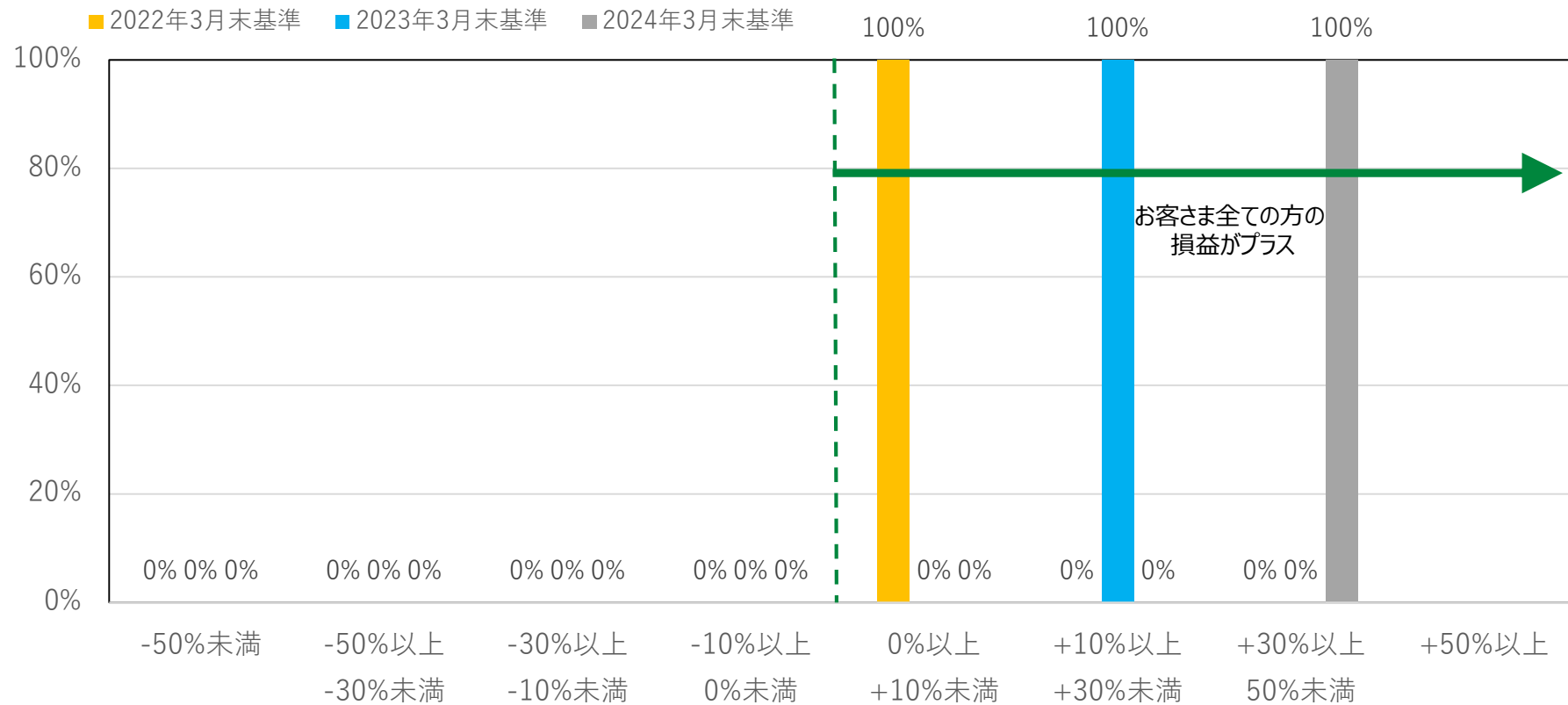
4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】 【原則7本文および(注)】

- 当組合では、お客さまの信頼を獲得し、満足していただける金融商品・共済仕組み・サービスを提供できるよう、各種研修の受講や勉強会の定期的な実施、証券外務員資格やFP資格等の外部資格取得を推奨し、幅広く研修コンテンツを充実させることで、職員の能力向上を図り、お客さま本位のご提案を実践できる人材を育成しております。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点でお客さまの損益はプラスとなっております。

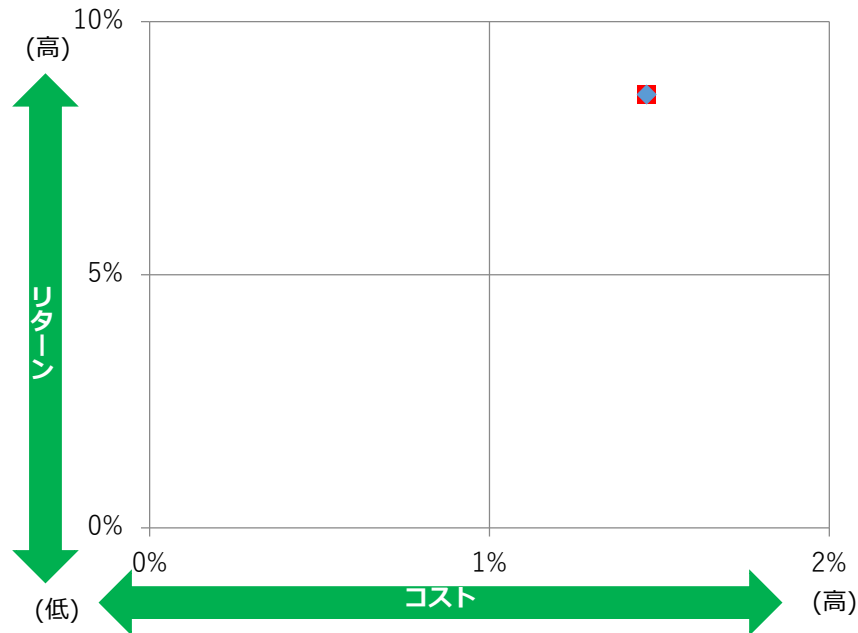


Ⅱ.比較可能な共通K P I

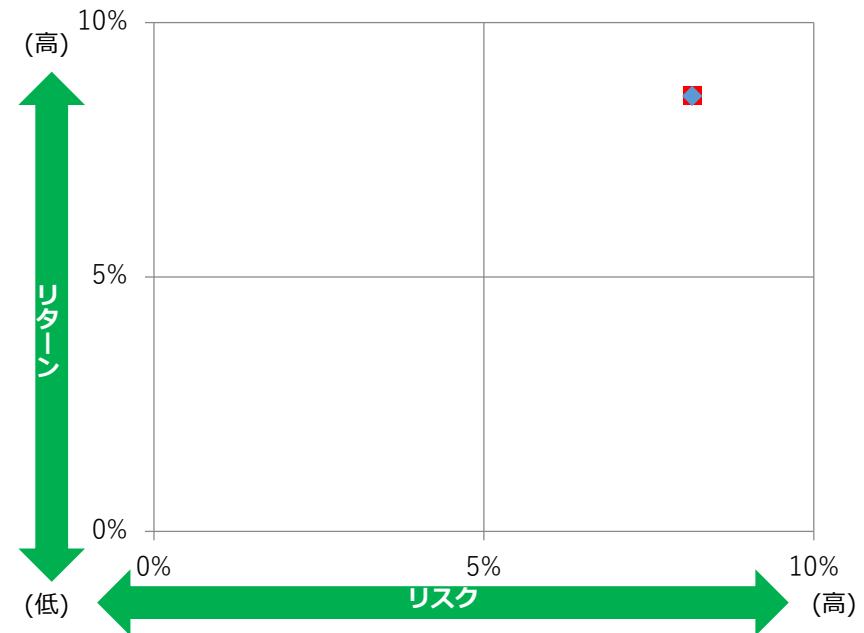
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 当組合では、2022年3月末、2023年3月末時点において、コスト・リターン、リスクリターン算出の対象となる設立後5年以上経過したファンドの販売実績はございません。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.46%、平均リスク8.16%に対して、平均リターンは8.56%でした（当組合における対象の銘柄は1点です）。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



- ※ 預りファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
- ※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	グローバル・インカムフルコース（為替ヘッジなし）	三菱UFJアセットマネジメント(株)	8.56%	8.16%	1.46%
2					
3					
4					
5					
残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値			8.56%	8.16%	1.46%

※ 2024年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は1本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。